

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 22 年度 枚方市事業仕分け (第 2 会場)
開 催 日 時	平成 22 年 9 月 4 日 (土) 9 時 3 0 分から 17 時 1 0 分まで
開 催 場 所	第 2 会場 (枚方市市民会館 1 階 第 3・第 4 集会室)
出 席 者	コ ー デ ィ ネ ー タ ー : 岡田直晃 (三重県津市) 仕分け人 (構想日本) : 喜治賢次 ((有)喜治プロジェクト H&M) : 中村 卓 (構想日本) : 森井敏英 (奈良県葛城市) 仕分け人 (枚方市選任) : 立溝和枝 (枚方市 PTA 協議会) : 原田三壽 (関西外国語大学) : 古谷 學 (枚方市コミュニティ連絡協議会)
欠 席 者	なし
案 件 名	事業番号 10 ふれあいセンター施設運営負担金交付事業 (文化観光課) ... 6 頁 事業番号 11 子ども芸術文化育成支援事業 (文化観光課) 25 頁 事業番号 12 地域貢献型ビジネス支援事業 (産業振興課) 43 頁 事業番号 13 津田地蔵池オアシス共園維持管理業務負担金 交付事業 (農政課) 56 頁 事業番号 14 めいわく駐車防止事業 (交通対策課) 73 頁 事業番号 15 王仁公園プール運営事業 (公園みどり課) 90 頁 事業番号 16 水洗便所改造資金補助事業 (下水道総務課) 106 頁 事業番号 17 景観水路利用推進事業 (下水道施設維持課) 125 頁 事業番号 18 市営住宅維持管理事業 (管財課) 139 頁
提出された資料等の 名 称	平成 22 年度 枚方市事業仕分け 資料 (第 1 日目)
決 定 事 項	事業番号 10 : 市 (要改善) 事業番号 11 : 市 (要改善) 事業番号 12 : 市 (要改善) 事業番号 13 : 市 (要改善) 事業番号 14 : 市 (要改善) 事業番号 15 : 市 (要改善) 事業番号 16 : 市 (要改善) 事業番号 17 : 廃止 事業番号 18 : 市 (要改善)
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	370 人 (第 1・第 2 会場の合計数)
所 管 部 署 (事 務 局)	企画財政部 都市経営室 行政改革課

審 議 内 容
次のとおり

(事務局)

それでは、定刻になりましたので、ただいまから平成22年度枚方市事業仕分けを開会いたします。まず初めに本市市長であります竹内からご挨拶申し上げます。

(市長)

皆さん、おはようございます。枚方市長の竹内脩でございます。本日は残暑大変厳しい中、また、早朝よりこの事業仕分けにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、枚方市であります。8月1日現在で人口が41万841人、世帯数17万683件を数えます、いわゆるベッドタウンとして発展してきたまちであります。大規模な住宅開発は一定収束いたしましたものの、充実した医療環境、また交通の利便性などに多くの市民の方が魅力を実感していただき、各種アンケートの結果においても市民の定住志向の高さが表れております。人口につきましては、大阪府内の多くの自治体が既に減少に転じている中、枚方市におきましてははずかではありますが、今なお増加の傾向にございます。しかし一方で、世帯数につきましては、年に2,000から3,000も増加するなど急激な増加傾向にありまして、このことは、とりもなおさず1家庭当たりの世帯人口が減少しているということで、本市におきましても少子高齢化の影響というものが確実に現れてきているというように考えています。このような社会構造、家庭環境の変化というものは社会保障費の増大や市税収入の減少など、市政運営においてもさまざまな課題につながっていくものであります。

また昭和40年代から50年代、いわゆる人口急増期に設置いたしました多くの公共施設の老朽化が課題となっております。このような課題に対応していくためには、市政の構造改革を強力に推し進め、安定した財政基盤の確立とさまざまな行政ニーズに柔軟に対応できる効率的で柔軟な行政運営を両立していく必要があると考えております。そのためには、市のさまざまな事業につきまして、市民のニーズを的確に反映し、社会状況の変化に対応したものとすよう多角的に評価、善処することが不可決であります。

今回の事業仕分けは、このような評価、検証を行う都市経営サイクルの一環として試行的に実施するものでありまして、行政内部とは異なる視点から事業の妥当性また有効性等を点検、検証することを狙いといたします。対象といたします36事業につきましては、本市が行う全事務事業1,400あまりの中から、さまざまな種類の事業を幅広く選択したものでありまして、仕分けの結果につきましては、本市としての対応案をとりまとめた上で次年度以降の事業計画、また、予算編成に反映して参ります。また、今回対象とならなかった類似事業の評価、検証を進めていく上でも、仕分けの結果は少なからず生かしていけるものと考えています。

今回の事業仕分けにおきましては、構想日本からコーディネーターを含め、仕分け人8人、また、本市からお願いいたしました6人の仕分け人の合計14名の皆様に2班

に分かれていただき、今日、明日の2日間で仕分けを行っていただくことを考えております。長時間の作業となりますが、今回の仕分けが実り多きものとなりますようご議論のほどよろしくお願いを申し上げます。また、傍聴にお越しいただきました皆様につきましても、円滑な仕分けが実現できますよう、ご協力のほど、それからまた、今後とも枚方市政の運営につきましても暖かく、また厳しい目をもちまして今後とも見守りいただきますこと、心よりお願い申し上げます。開会に当たりましての私からのごあいさつとさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いをいたします。ありがとうございます。

(事務局)

ありがとうございました。続きまして、構想日本の中村様から、事業仕分けについてご説明をいただきます。よろしくお願いをいたします。

(構想日本)

皆様、おはようございます。構想日本の中村でございます。事業仕分けの説明の前に、簡単なごあいさつをさせていただきます。今日、明日と、枚方市の事業仕分け開催となりました。私どもは、これにご協力させていただく立場でございます。2日間、精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

事業仕分け、既にこちらの皆様もご存じかと思えます。国の事業仕分けで一躍名前是有名になりました。テレビであれこれ報道されることを通じて、色々な誤解、曲解、あるいは事業仕分けはけしからんというような思い込みなど、決め付けもございます。今日、明日の、このやり取りを聞いていただいて、つぶさに事業仕分けについて見て聞いていただく中で、枚方市の今後につなげていただければありがたいと思っております。

構想日本の事業仕分けは、2002年から全国の自治体と連携しながら続けて参りました。そこで、国・都道府県・市町村の仕事にかかる予算にはどうするか、あるいは行政と市民とにかかる予算としてはどうするか、一つ一つの事業についてやり方に問題がないのか、本当に市民にとって効果的に有効なことをしているのかどうか、そういうことをやはり事業一つ一つを検証する中で改革を進めていくことが重要であろうと。いろいろ抽象的な行政改革についてのスローガンとかございますけれども、なぜ改革が進まないのかという問題意識の中で、やはり一つ一つの事業が最終的には住民の皆さんにつながってるわけでございますので、その事業のあり方をつぶさに具体的に検証する中で改革を進めていくという問題意識でございます。

当然ながら、事業仕分けは道具でございますので、使い方がどうかと事業仕分けらしきものもございますけれども、私どもは、最終的に市民の皆様にとって、これをやってよかったと、行政にとってもこれをやってよかったと、枚方市の今後につながる事業仕分けであったと言われるものを目指して、私どもと一緒にチームを組んで取り組んでお

られる仕分け人さんと一緒に日々研鑽をしておりますけれども、今回具体的に枚方市の事業仕分けに協力していただく中で、2日間充実した事業仕分けを進めていって、それが今後の枚方市の改革につながっていくことを祈念をいたしているところでございます。どうぞ2日間よろしくお願い申し上げます。

(事務局)

ありがとうございました。それではただいまより仕分け作業を行います。よろしくお願いいたします。